

第3回教育研究審議会

議事概要

日時 令和2年5月6日(水) 午後4時00分～午後5時31分
場所 本部棟3階 大会議室
出席者 藤田英典学長、杉本光司副学長、田中昌弥副学長、深澤祥邦事務局長、小林重雄理事、樋口雄人学長補佐、佐藤明浩学長補佐、加藤めぐみ学長補佐、新井仁入学センター長、廣田健教職支援センター長、北垣憲仁地域交流研究センター長、茂木秀昭国際交流センター長、竹島達也研究科委員長、野中潤国文学科長、ハウエル・エヴァンス英文学科長、山本芳美比較文化学科長、原和久国際教育学科長、鳥原正敏学校教育学科長、春日尚雄地域社会学科長、矢嶋亘総務課長、石川和広経営企画課長、中村さき子学生課長

藤田学長より挨拶

2 議 事

- (1) 都留文科大学留学に関する安全ガイドラインについて
 - 担当者から資料1-1から資料1-3に基づき説明。→修正のうえ承認。
 - 公表される可能性があるガイドラインであるため、審議会などは正式名称を記載する必要があり文言の精査が必要である。
 - 「教研審もしくは理事会で審議」とあるが意図について確認したい。
 - 以前、福田前学長に確認したところ理事会での決定が必要となる可能性がある旨言われた。
 - 最終決定は教育研究審議会、教務委員会及び教授会の審議を経るものであると考える。
 - 審議手順等も含め再確認のうえ修正することを条件に承認するものとする。
 - 必要箇所を修正したうえで次回の教授会で報告いたします。
 - 別件となるが、国際教育学科の交換留学については4月の教育研究審議会に方向性の提案をして今月中の決定をするものとしているが決定手順はどのようにしたら良いか。
 - ガイドラインの手順については議論されたとおりとするが、急を要する案件については学長、両副学長と協議のうえ常任理事会において決定するものとする。
- (2) 令和2年度 非常勤講師授業担当科目について (取消第9回・第10回)
 - 担当者から資料2に基づき説明。→提案どおり承認。
- (3) 令和2年度 非常勤講師授業担当科目について (第14回)
 - 担当者から資料3に基づき説明。→提案どおり承認。
- (4) 令和2年度 教員免許状更新講習中止についての提案について
 - 担当者から資料4-1から資料4-2に基づき説明。→確認のうえ一部実施を承認。

→私自身も講習担当者の一人であるが、内容が遠隔授業に関連する内容であり需要もあるため可能であれば一部実施としていただきたい。

→他の講習担当者や事務局に確認のうえ実施可能な講習を一部実施する方向で検討する。

(5) その他 ○なし

3 報 告

(1) 新型コロナウイルス対策について

○担当者1から資料5-1から資料5-3に基づき報告。

担当者2から図書館利用について補足報告。

→教室利用について「自己の学習の場としては貸さない」としているが、自己の学習の場としても利用できるように修正した方が良い。

→修正のうえ対応する。

→他大学ではW i F i環境支援など実施しているが本学での対応は検討しているか。

→学生支援を実施している私立大学の多くは施設維持費用を徴収しているが、本学では施設維持費用を徴収しておらず通信環境支援のための原資が現状はない。現在、機器の貸与などについて検討のための調査中である。

→学生からの課題過多などの訴求メールの紹介。

→すでに副学長名等で課題についてなど情報発信済みではあるが、再度、学長名で周知徹底を図る。

(2) 授業開講期の変更について

○担当者から実施中のアンケートについて報告。

→理論的に遠隔授業ができることと質を確保した遠隔授業が提供できることは同様ではなく、大人数を担当している教員は時間的な余裕が皆無であり疲弊している。原資がないのは理解できるが限られた資金の活用方法については検討いただきたい。

→本日の学科会議で話題となったが、例年であれば入試問題について5月中から作問の検討を開始するが本年度の見通しについて早めに提示いただきたい。

→英文学科でも、9月のA0入試について入試センターからどのようにするか意見を求められているが、学科だけの決定というわけにいかないため今後本審議会において議論していただきたい。

(3) その他

○担当者から次回の審議会開催予定と書類提出について依頼。

4 その他 ○なし

5 閉 会

以 上